

みなとみらい21地区 40周年を迎えます 様々なイベントを通して“みなとみらいの未来”を描いていきます

みなとみらい21地区は、令和5年11月8日に事業着工から40周年を迎えます。今後は、研究開発拠点や音楽施設、ミュージアムが重層的に集積する特徴を生かして、都市型の文化や産業を醸成・発信するとともに、社会的課題である脱炭素についても先行的に取り組んでいきます。

あわせて、みなとみらい21地区着工40周年記念事業実行委員会は、40周年を契機に様々なイベントを展開し、これまでの軌跡や、みなとみらいの未来のビジョンを感じられるような機会を設けます。

1 みなとみらいの“未来”にむけて

みなとみらいは、既に96%以上が開発され、商業の他、研究開発拠点、音楽施設、ミュージアムなどが集積し、様々な分野の人材が集まる街に成長しました。これからは、建設の時代から、次のステージへ。分野を超えて人々の力を掛け合わせ、みなとみらいから感動と価値を生み出し、発信していきます。

テーマ① Open Innovation

研究開発拠点やスタートアップ企業、大学の集積を生かし、地域企業の交流による**新しい技術の創出**を応援します。また、まちなかを巡りながら**新しい技術でワクワクする未来**を感じられるような機会を設けていきます。

テーマ② Music Port Yokohama

多様な音楽施設の集積を機に、企業や行政、各団体が連携して様々な取組を行うことにより、みなとみらいを**音楽の街**としてブランディングし、街のさらなる魅力向上と活性化を目指します。

テーマ③ Art&Museum

企業の最新技術や歴史、アートに出会えるミュージアムが集積していることから、各施設と連携して、街の回遊につながる取組を行うとともに、**新たな『知』や『気づき』**と出会うきっかけを発信していきます。

テーマ④ 脱炭素

脱炭素化を中心とした環境配慮の重要性が一層増している中、SDGsに**地区全体で取り組む街**として基本事項を着実に実践し、新たなアクションにも取り組みます。
 ※ 2022年4月に環境省から、脱炭素先行地域に選定

■ みなとみらいの“未来”に関するご意見を募集します！

みなとみらいの“未来”を考えるにあたり、広くご意見を募集します。
 なお、いただいたご意見は、40周年記念のイベントなどで紹介します。

【募集期間】 令和5年7月7日（金）～7月30日（日）



2 みなとみらい40周年キービジュアルが決定しました！



40周年記念のイベントや広報で活用していきます。

キャッチコピー

みなとをつむぎ
 みらいをえがく

キービジュアルのコンセプト

40年の時をかけて、つむいできたみなとみらい21の景色を鮮やかな色調の図形でシンボリックに表現しています。

「みらいをえがく」とは「想像」を「創造」していくこと。

あえてディテールを描かないことで、見る人の想像力をかきたて、みなとみらいの明るい未来を期待させるデザインとしています。

裏面あり

3 40周年記念のイベントを続々と展開します！

(1) eスポーツ大会の開催

地区内の人々の交流促進を主な目的として、eスポーツ大会を開催します。
あわせてeスポーツの“未来”をテーマに、ピッチイベントを行います。

【開催日】 令和5年8月25日（金）

【開催場所】 京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター共創スペース

【参加方法など】 参加資格 > みなとみらい21地区内の 就業者 又は 住民

申込期限 > 令和5年8月8日（火）まで ※特設サイトから申込み

(2) メモリアルブックの発行

40年の軌跡と、みなとみらいの未来をまとめたメモリアルブックを発行します。

【発行日】 令和5年10月27日（金）

(3) シンポジウム “みなとみらいの未来を描く”大会議 の開催

街の96%以上が開発され、建設の時代からの転換期を迎えるにあたり、みなとみらい21地区が今後も魅力的な街であり続けるために進むべき方向性を考えるシンポジウムを開催します。

【開催日時】 令和5年11月8日（水） 14:00～17:00

【開催場所】 神奈川大学みなとみらいキャンパス米田吉盛記念ホール

【参加募集期間】 令和5年8月26日（土）～10月31日（火） ※特設サイトから申込み

4 そのほかにもイベントが盛りだくさん！

※ 詳細は改めて発表します。

>MM Grass Park 2023

公共空間を活用した賑わい演出の取組として、グランモール公園に人工芝やテーブル等を設置し、ライブ演奏、イベント、キッチンカーなどを楽しみながら、人々が気軽に交流できる場を創ります。

【開催期間】 令和5年10月6日（金）～11月5日（日）



>Music Port YOKOHAMA のキックオフイベント

Music Port YOKOHAMA の取組を知っていただくため、ランドマークプラザ サカタのタネガーデンスクエア等で、FMヨコハマの公開収録や、アーティストによるライブ&トーク等を行います。

【開催日】 令和5年11月3日（金・祝）

5 40周年PRを展開します！

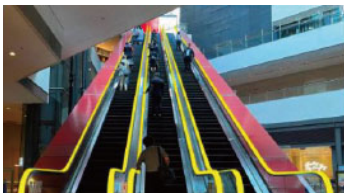
(1) 特設サイトを開設します！

イベントの詳細や申込みはこちらから。また、過去の写真や特集記事など情報を随時更新していきます。



(2) 地区内装飾を展開します！

40周年を盛り上げるため、キービジュアルなどを活用した地区内装飾を行います。



第一弾として、みなとみらい駅からの乗客が最初に目にするクイーンズスクエア横浜内シャトルエスカレーターに特別な装飾を施します。なお、このエスカレーターの手すり装飾は今回が初めてです。

【期間】 令和5年8月7日（月）～11月8日（水）

【長さ】 約40m（地下3階から地上1階まで）



※ デザインはベルトの一部で、イメージです。

6 協賛企業 (令和5年6月29日時点)



ウエキ園芸株式会社 / 岡田ビル株式会社 / 株式会社角川アスキー総合研究所 /
京浜急行電鉄株式会社 / 株式会社コーエーテクモゲームス /
株式会社ジェイコム湘南・神奈川 横浜テレビ局 / 株式会社 JTB 横浜支店 /
首都高速道路株式会社 神奈川局 / 株式会社ソーエー / 株式会社そごう・西武 そごう横浜店 /
株式会社 tvk コミュニケーションズ / 株式会社村田製作所 / 山田株式会社 /
医療法人社団優和会 湘南健診クリニック ココットさくら館 / 株式会社横浜都市みらい

7 特別協力

横浜市

※ この活動は公益信託みなとみらい21まちづくりトラストの助成により実施しています。

お問合せ先

事務局 一般社団法人横浜みなとみらい21事業推進課長 大井 綾子 TEL : 045-682-4403

※ イベント当日の取材については、イベント前日までに mm21-koho@ymm21.or.jp にご連絡ください。

参考1 みなとみらい21地区着工40周年記念事業実行委員会について

40周年記念事業を推進することを目的に設立され、地区で活動する企業・団体や横浜市で構成されています。

(株)東急モールズデベロップメント、(株)横浜インポートマート、(株)横浜銀行、横浜新都市センター(株)、三菱地所(株)、(株)横浜国際平和会議場、日産自動車(株)、独立行政法人都市再生機構、住商ビルマネージメント(株)、(一社)横浜みなとみらい21、横浜市都市整備局(オブザーバー)

参考2 みなとみらい21地区について

開発経過

構想

昭和40年(58年前)

横浜市が都市としてさまざまな問題を抱えているなかで「六大事業」を発表。みなとみらい21事業の基本構想は、「六大事業」の一つである「都心部強化事業」の中で打ち出され、横浜駅周辺地区と関内・伊勢佐木町地区に挟まれた当地区を開発することで、分断されていた都市機能の強化を目指しました。

基盤・公共施設 先行整備

昭和58年(40年前)

昭和58年11月8日に着工式が行われ、開発がスタート。
埋立て工事が行われ、地域冷暖房システムや動く歩道等の基盤整備が行われました。
昭和60年に横浜新都市ビル(そごう横浜店)がオープン。以降、みなと博物館、横浜美術館、パシフィコ横浜等の公共施設が先行して整備されました。

民間街区開発

平成5年(30年前)

平成5年7月16日の横浜ランドマークタワーの開業を皮切りに、横浜銀行本店、三菱重工横浜ビル、クイーンズスクエア横浜など民間による街区開発が進み、平成11年には新港地区が街開きしました。バブル崩壊、リーマンショック、新型コロナウイルスなど、様々な困難がありましたが、今では年間約6,680万人が訪れ、約1,890の事業所が集う街に成長しました。

感動と価値を 生み出す時代へ

令和5年(2023年) ▶▶▶

令和5年11月8日に40周年を迎えます。建設の時代から、感動と価値を生み出す時代へ。
研究開発拠点や音楽施設、ミュージアムが集積する特徴を生かして、都市型の文化や産業を醸成・発信するとともに、社会的課題である脱炭素についても先行的に取組み、首都圏を代表する街として成長を続けます。

来街者数、就業人口、進出企業

	20年前(平成14年)	10年前(平成24年)	現在(令和4年)
来街者数	約4,100万人	約6,700万人	約6,680万人
就業人口	約5万人	約8.9万人	約13.1万人
進出企業	約930社	約1,520社	約1,890社

機能集積の状況

研究開発拠点や音楽施設、ミュージアムが集積する特徴を生かして、都市型の文化や産業を醸成・発信する取組を推進していきます。

	取組名称	地区内参加施設等数	URL
研究開発拠点 ⇒⇒	横浜未来機構	22社※	https://yoxo-o.jp
音楽関連施設 ⇒⇒	Music Port Yokohama	9施設	https://musicport-yokohama.jp
ミュージアム ⇒⇒	Art & Museum	20か所	https://minatomirai21.com/sp/am

※ 横浜未来機構の会員のうち、届出住所がみなとみらい地区内の会員数。